

浮かぶ地球



小学校第3学年「風やゴムのはたらき」の学習で活用できる可能性がある。

送風機の上で浮かんでいるのは、地球柄の紙風船である。(なので、普通の紙風船でもいいのではないかと思う) この紙風船の地球は、風の強さで高さが変わる。強い風の際は、高く上がって浮かび続け、弱い風では、送風機の近くで浮かんだままである。風船では、強い風にすると飛んでいってしまい、浮かび続けることは難しい。紙風船の重さと形のバランスのなせる技のようである。

さて、子どもは、この現象から風が強いほどものを大きく動かせるということに気づくであろう。そして、子どもに、「風が強いほどものを遠くまで動かすことができるのかを自分の考えた方法で確かめよう」と投げかけて活動をする。3年生の子どもにとって、言葉で見通しをもちながら問題解決をしていくよりも活動の中で問題解決をした方が発達段階として合っているのではないかと思う。